

橋梁研新聞

平成29年12月28日発行

第2号

研究室の1年間の活動をまとめました。

平成29年度前期には、社会人ドクター1人、修士1人、生2人、学部4回生2人が、後期には、社会人ドクター2人、研究生1人が研究室に加わり、より活気あふれる研究室となりました。また、森山氏が博士(工学)の学位を取得し特任助教に就任され、杉本君が前期博士課程を早期修了し後期博士課程に進学しました。研究室のメンバーは左表の通りです。全員で協力し、切磋琢磨し合い、素晴らしい研究成果を上げられるように、日々努力していきます。



教授	山口	(敬称略)
客員教授	長崎	三ツ木
特任助教	森山	
秘書	北見	石田
D2	上野	
D1	岑山*	郎 有村** 杉本 松本**
M2	小林 戸田 馬場	舟山 森下
M1	奥原 白井*	廣澤 藤本* 本多 山本
B4	池田*	竹本*
研究生	陳**	

*前期から新しく研究室に加わったメンバー
**後期から新しく研究室に加わったメンバー

グローバル活動

海外留学(シヤンマー・マレーシア)
舟山君がMandalay Technological University、J&M、マレーシアのCREAMにて留学中です。
12月には、シンポジウムICSEで発表しました。
ミヤンマーでの橋梁計測(ヤダナポン橋梁)
39th IABSE Symposium Vancouver, BC, Canada
小林君と松本氏(共著者)が発表しました。
中国国際工業博覧会(上海)
留学生の郎君が、産学連携による展示会にて、現地協力に参加しました。

橋梁業界の出来事二〇一七

- 2月1日 東京鉄骨橋梁が「日本ファブテック」に社名を変更
- 3月29日 気仙沼大島大橋の架設完了(宮城県)
- 3月31日 CEM導入ガイドラインの作成
- 4月13日 小名浜マリンドリッジ開通(福島県)
- 6月30日 ヨドバシ橋開通(大阪府)
- 7月21日 道路橋示方書改定(11月発刊)
- 10月1日 桜小橋開通(東京都)
- 11月24日 出島表門橋開通(長崎県)
- 12月10日 新名神高速道路高槻JCT〜川西IC開通

ぶら土木

今年度、橋梁研の修士1回生を中心に土木構造物見学サークル「ぶら土木」を立ち上げました。サークル活動としてこの12月までに4回の現場見学会などを企画しました。

第一回の活動は、6月10日に、滋賀県の瀬田川に架設中のバスケットハンドル型ニールセローゼ形式の瀬田川橋梁を見学しました。以前にも橋梁研でアーチが架かる前に見学した現場ですが、主構造であるアーチが架かってからの見学は迫力がありました。

第二回の活動は、7月8日に、CVV(Civil Veterans & Volunteers)の方々の引率の元、淀川橋梁巡りと称して、淀川に架かる橋を徒歩で巡りましたが、長距離を歩いたため少し大変でしたが、遠足気分が橋の歴史などを学びました。

第三回の活動は、10月6日に、箕面市のいづま谷川に架設中のいづま谷川橋梁を見学しました。まさに送り出し架設を行っている最中に桁の中へ入り見学させていただきました。貴重な体験ができました。
第四回の活動は、淀川に架かる淀川大橋の鋼床版への取替工事を見学しました。供用から91年が経過した橋梁のRC床版を撤去した現場や、桁を貫通した戦時中の弾痕などを見学し、普段の見学とは異なった視点での見学会となりました。



10/6 いづま谷川橋梁



7/8 淀川橋梁巡り



に社名を変更

学会発表

★平成29年度構造工学シンポジウム
4月22・23日に北海道大学にて行われました。博士2回生および修士2回生3名の計4名が構造工学論文集に登載され、プレゼンテーションを行いました。その結果、博士2回生(当時)の森山氏が構造工学シンポジウム論文賞を受賞しました。

★平成29年度 土木学会 関西支部 年次学術講演会

5月27日に大阪工業大学にて行われました。修士1回生の4人がプレゼンテーションを行いました。その結果、修士1回生の本多君と山本君が優秀賞を受賞しました。(写真1)

★平成29年度 全国大会 第72回 年次学術講演会

9月11・13日に九州大学にて行われました。修士1回および2回生、博士1回生、2回生、昨年度の修士生の計14名が論文を投稿し、プレゼンテーションを行いました。その結果、博士2回生(当時)の森山氏と修士2回生の戸田君が優秀賞を受賞しました。(写真2)

★平成29年度鋼構造シンポジウム

11月16・17日に東京ファッショントアウンにて行われました。修士1名を含む計3題のプレゼンテーションを行いました。



写真1(右:本多, 左:山本)



写真2(右:森山, 左:戸田)

ゼミ旅行

10月14日、16日に東北へ2泊3日のゼミ旅行に行きました。1日目は白石市名物の「うーめん」屋からはじまり、やまびこ吊り橋、御釜、天童温泉、山形を巡り、2日目は荒浜小学校、女川、大川小学校、新北上大橋、南三陸を訪問して震災遺構を見学しました。東北の被災地を初めて訪れる学生が多く、その被害の大きさを目の当たりにして言葉を失う場面もありましたが、土木の道に進む者として貴重な経験となりました。

最終日には、H2Eエンジニアリングが上部工を施工している気仙沼大島大橋の現場見学と、中尊寺へ行きまし。気仙沼大島大橋は国内で2番目の支間長を誇る鋼中路式アーチ橋であり、大変迫力がありました。H2Eエンジニアリングの皆様、現場見学会をご準備いただきありがとうございます。

橋本先生のご結婚祝い
郎君ご婚約祝い

11月22日、神戸大学の橋本先生のご結婚のお祝いおよび後期博士課程1回生郎君のご婚約のお祝い会を開催しました。

学生や先生方からお二組への質問タイムでは、なれそめや家での様子などをお聞きすることができ、大変盛り上がりました。これからも研究活動で忙しい日々が続くと思いますが、橋本ご夫妻、郎君カップルの幸せを心より願っております。



記念撮影 レストラン会場にて

森山氏の博士論文公聴会

8月18日に、後期博士課程2回生森山仁志氏の博士論文公聴会が行われました。「高力ボルト摩擦接合継手のすべり後支圧限界状態に関する研究」という題目で博士論文をまとめられ、博士課程を1年早く修了されました。森山氏は後期博士課程修了後、10月1日より特任助教に就任されました。森山先生の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



博士論文公聴会の様子



新北上大橋

やまびこ吊り橋

御釜

気仙沼大島大橋

白石市名物 うーめん

中尊寺

ブリコン2017

8月31日および9月1日に岐阜大学にて開催されたJapan Steel Bridge Competitionに、本学から2チームが参加しました(当研究室からは修士1回生6名、学部4回生2名が参加)。

全国の大学や高専21チームが参加する中、チームA「hyVridge」は斜張橋へ挑戦し、く字の主塔を持った特徴的な橋梁を制作し、入賞はできませんでしたが、審査員の記憶に残る橋梁を作成できました。チームB「港小橋」は上路式アーチとトラスを組み合わせた美しい橋梁を作成し、美観部門優勝、架設部門3位、総合部門3位という結果を収め、大阪市立大学は美観部門4連覇、総合部門3年連続入賞を達成しました。



チームA「hyVridge」



チームB「港小橋」

ソフトボール大会

10月8日に平成29年度関西鋼構造ソフトボール大会が神戸大学にて開催されました。昨年度から引き続き、修士1回生の奥原君の力投と圧倒的強さを誇る社会人チームの優しさに、見事リーグ戦を突破し、結果は第3位と好成績を残すことができました。余興の部では、会場を大爆笑に包み、他大学を圧倒して2年連続優勝を飾りました。来年度の記念すべき第40回大会は市大主催での開催となります。次こそはソフトボールと余興の完全制覇を成し遂げられるよう、努力して参ります。



パワーヒッター 山口教授

エース 奥原君

投稿論文一覧

- △土木学会論文集▽ 白倉博士修了...腐食した桁端部の耐力特性を踏まえた崩壊プロセスからの分類とその分析 有村(博一)：桁端部に腐食劣化の生じた鋼桁橋の耐荷性能評価に関する解析的検討
- △構造工学論文集▽ 森山(特任助教)・製作・施工誤差に起因する高力ボルトの片当たりが高力ボルト摩擦接合継手の各種限界状態に及ぼす影響 杉本(博一)：主桁連結部の着目した緊急架設橋の目録解析による施工連結部の引張接合構造の構造合理化に関する研究 小林(修二)：既設合成桁橋の合理的な床版取替え工法に関する基礎的研究 森下(修二)：球状鉛鉛鉄製当て板を用いたクリップ床版の下面補強工法に関する研究 舟山(修二)：添板接で破断する場合の高力ボルト継手の性能に関する基礎的研究
- △鋼構造論文集▽ 金城(修了)：施工段階を配慮した2回締め高力ボルトセットを用いた高力ボルト摩擦接合継手の適用性に関する研究
- △鋼構造年次報告論文集▽ 森山(特任助教)・高力ボルト摩擦接合継手のすべり後支圧耐力に関する実験実績調査 山本(淳)：犠牲部材を用いる鋼上路式アーチ橋の損傷制御に関する基礎的研究 山本(修一)：高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力向上に関する実験的研究 高井九州工業大学助教)：多列高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力向上に関する基礎的研究
- △ABSTRACT▽ 小林(修二)：Fundamental study on half-width slab deck replacement method for an existing composite steel girder bridge. (敬称略)
- △その他主な活動▽ 平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会・Japan Steel Bridge Competition (美観1位、架設3位、総合3位)・平成29年全国大会第72回年次学術講演会・ミヤンマーでの実橋梁計測(ヤダナボン橋梁)・土木リーグ・橋梁模型コンテスト



余興の部優勝で湧き上がる会場